

新現役人材の活用に向けて
～他地域の取組事例と北見市への提言～

北見市中小企業振興プラン～企業アンケート調査～

- 北見市が実施する中小企業振興施策についての意見・要望では、「人口増加策」が最も多く、次いで「人材確保面でのバックアップ」が求められている。
- その背景は、北見市の企業が現在直面している経営上の課題・問題点である「優秀な人材の確保」にあると推測される。

図1：北見市が実施する中小企業振興施策についての意見・要望

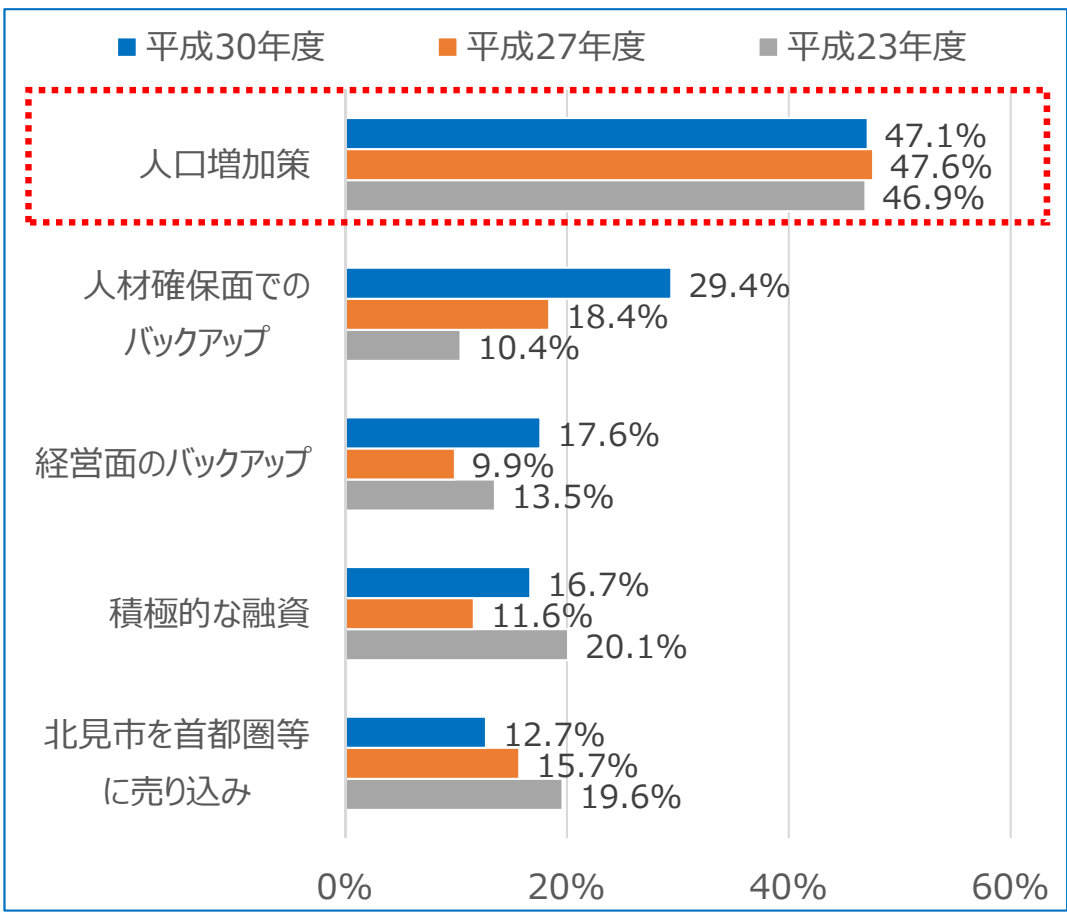
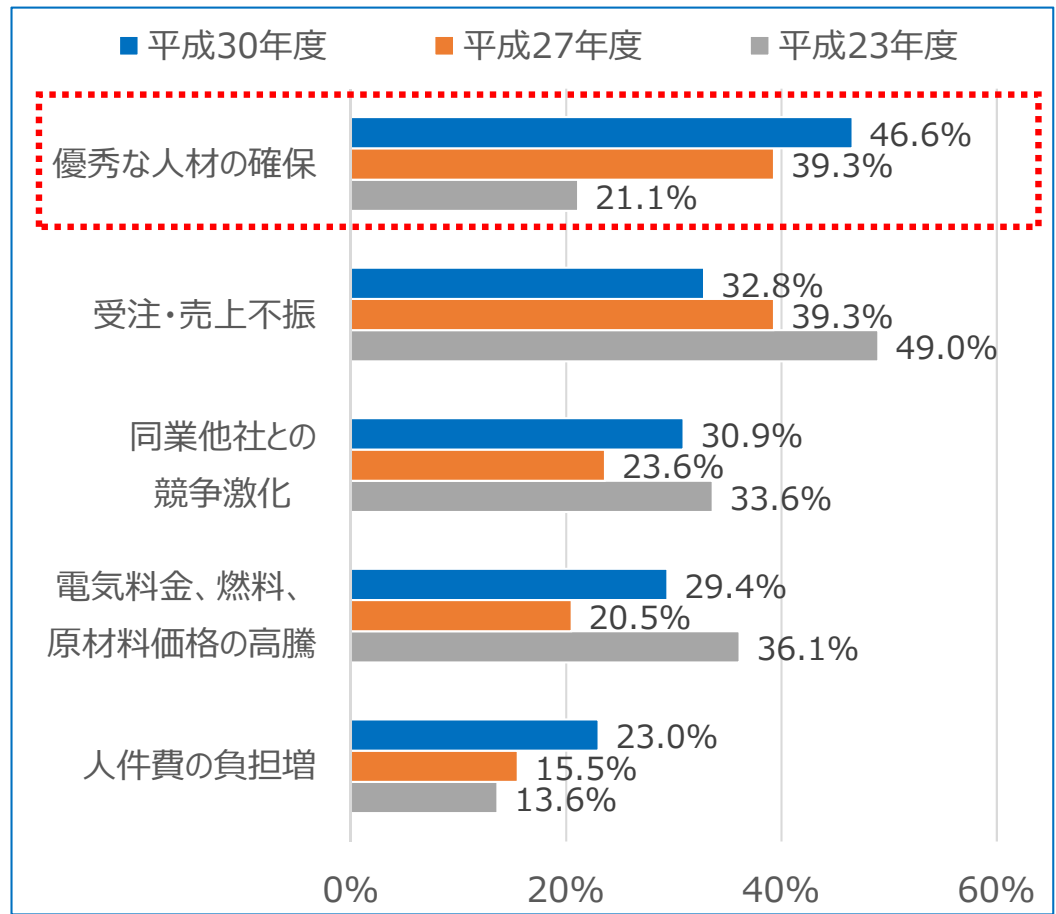


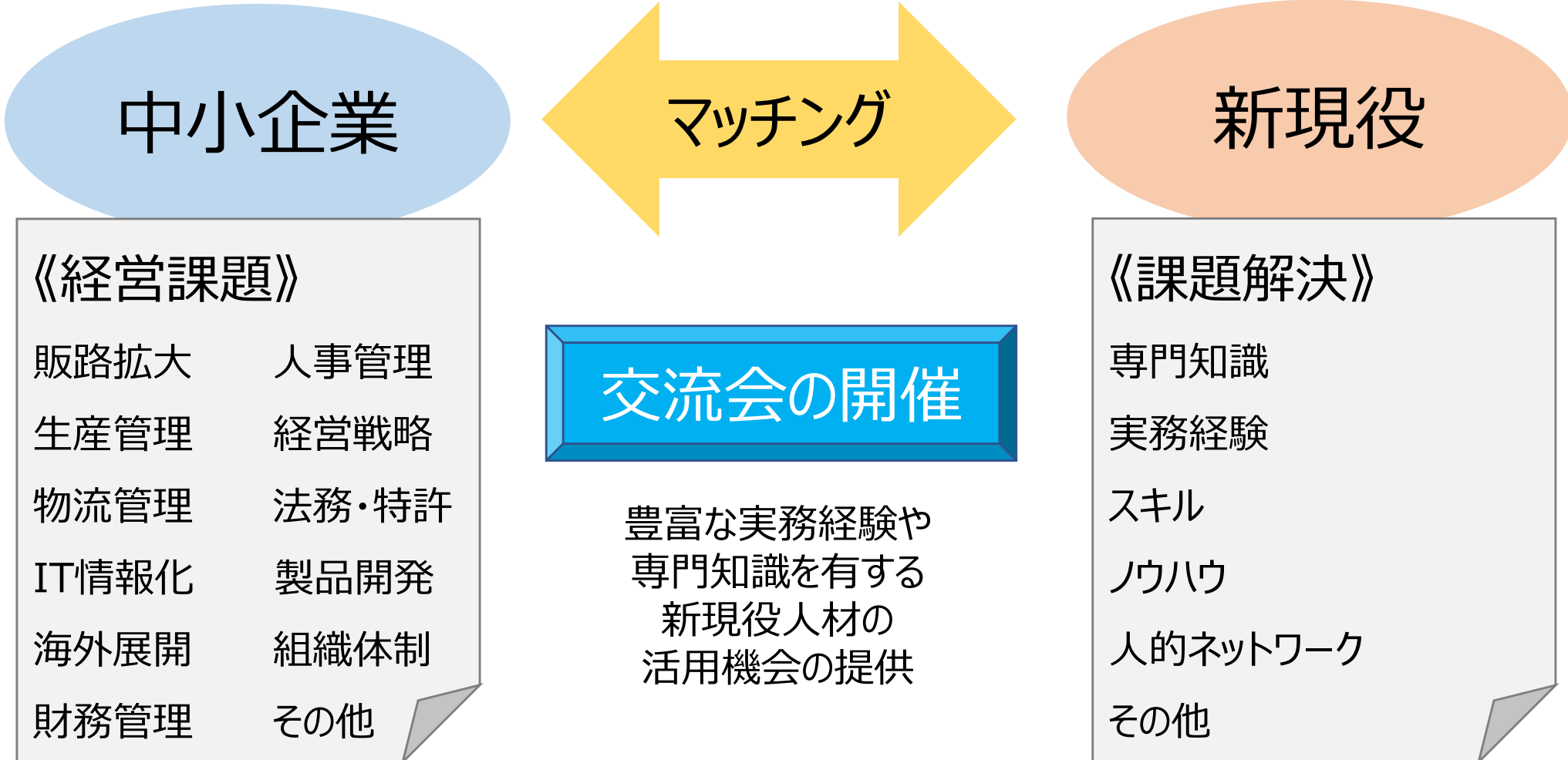
図2：現在直面している経営上の課題・問題点



〈出典〉北見市HP『北見市中小企業振興プラン』（2019年3月）を改編

優秀な人材の確保に向けて～他地域：主に関東圏の取組事例～

- 関東経済産業局では、豊富な実務経験、専門知識および人的ネットワークを持った人材を中小企業の課題解決に活用するため、新現役（マネジメントメンター）制度を創設。
- 中小企業の経営課題の解決に向けて、新現役の知識・ノウハウ等を活用を目的とした人材マッチング支援施策『新現役交流会』を開催している。



新現役（マネジメントメンター）とは

■ 新現役人材とは

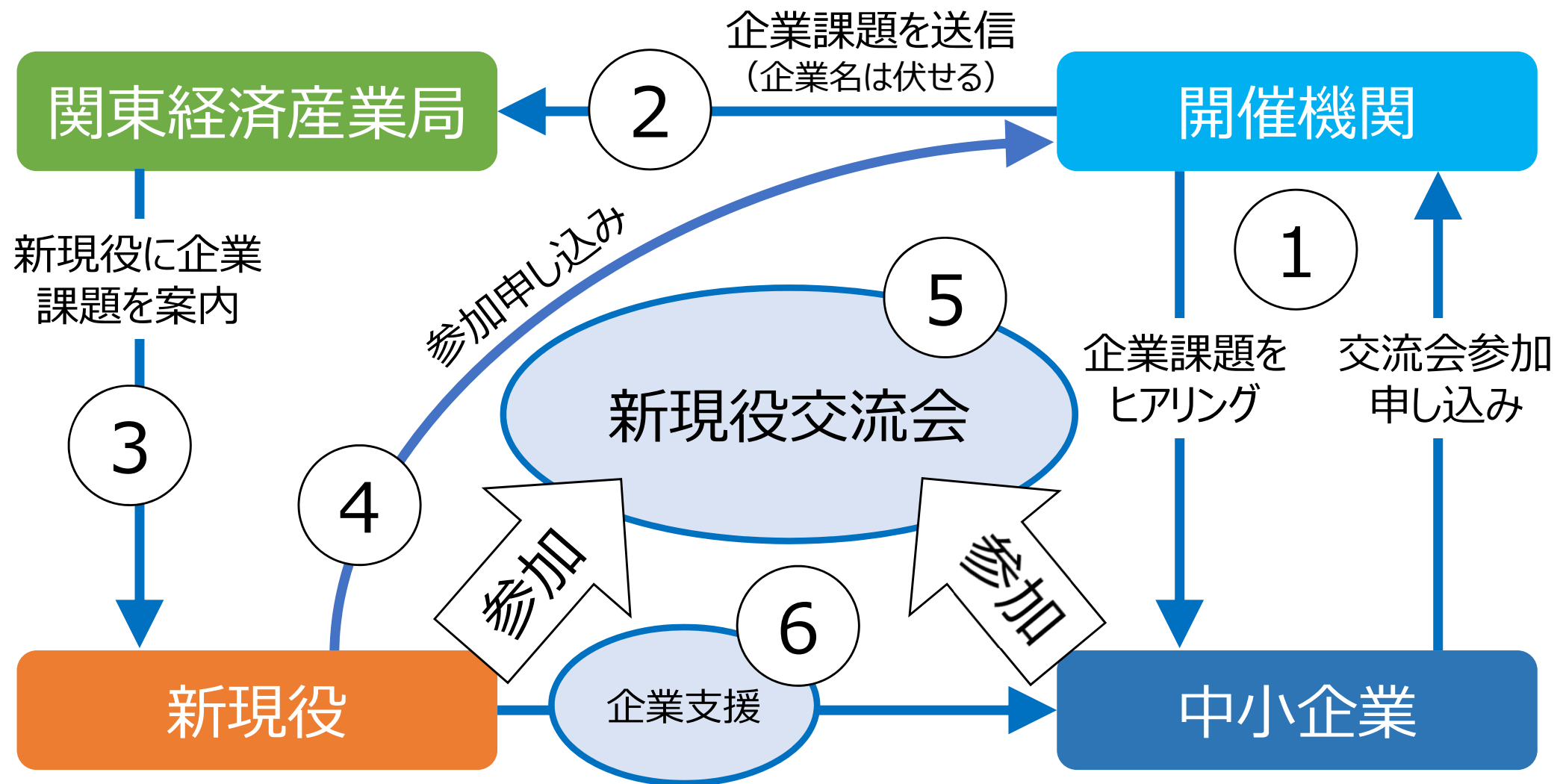
- 主に大企業等の退職者や退職を控える50歳代後半以降の人材で、**豊富な実務経験、専門知識、築いてきた人的ネットワーク**などを活かして、**高度・専門的な経営課題を抱える中小企業を支援するため**、関東経済産業局マネジメントメンターデータベースに登録した方々を指す。

■ 登録要件

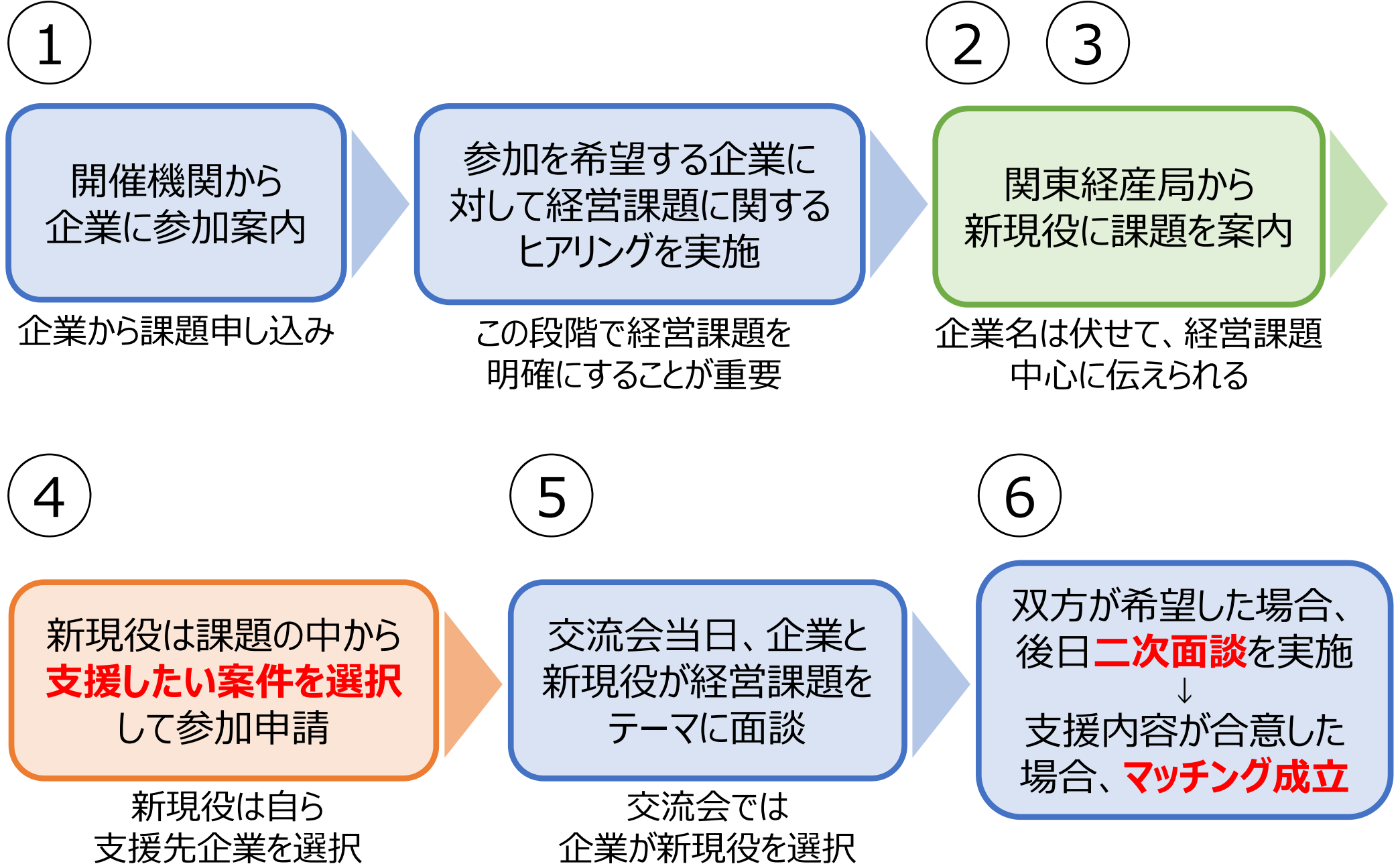
- ◆ 企業などを退職された方や近く退職を予定している方
- ◆ 中小企業の限られた経営資源の実態を十分に理解し、中小企業の課題解決に真摯に向き合い、**自己利益より中小企業支援の観点を重視**するボランティア精神のある方
- ◆ **1つの専門分野で通算してほぼ10年程度の経験**があり、**実務支援能力が十分に発揮**できる方
- ◆ 登録時点の年齢が50歳以上の方
- ◆ 支援実施に際し、健康上の支障がない方
- ◆ 反社会的勢力でない方

新現役交流会のイメージ

- 新現役交流会は、経営課題を有する「中小企業」と課題解決能力を持った「新現役」とのマッチングの場として開催。
- マッチング成立後、中小企業への具体的な支援を通じて、経営課題の解決をサポート。企業はミラサポ「専門家派遣事業」の利用により、3回まで無料でサポート受けられる。



新現役交流会への参加と流れ



新現役交流会の開催状況

開催年度	開催回数	参加企業数	参加 新現役数	マッチング 成立企業数	マッチング率
平成23年度	6回	115社	641名	66社	57%
平成24年度	13回	276社	1,492名	157社	57%
平成25年度	22回	439社	1,472名	189社	43%
平成26年度	24回	492社	1,638名	302社	61%
平成27年度	25回	448社	1,581名	288社	64%
平成28年度	28回	463社	1,573名	270社	58%
平成29年度	28回	509社	1,615名	275社	54%
平成30年度	26回	474社	1,742名	279社	59%
令和元年度	30回	529社	1,894名	311社	59%
合計	202回	3,745社	13,648名	2,137社	57%

参加企業の課題例

中小企業の課題の一例

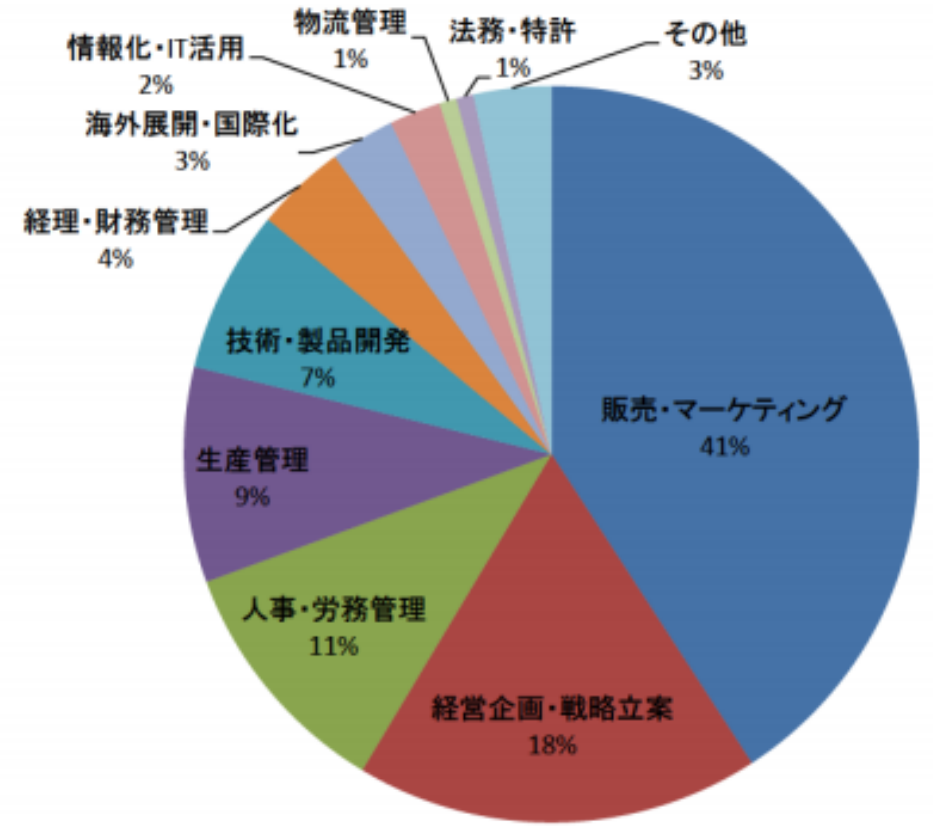
①経営企画・戦略立案	経営戦略の立案、新規事業の進出計画策定、後継者育成、環境対策、リスク管理、ビジネスプラン、企業間連携、事業承継、企業再生、IPO・資金調達
②海外展開・国際化	海外市場の開拓、工場移転、輸出入業務
③情報化・IT活用	経営情報システムの導入、新ソフトウェアの開発、イントラネットの整備、セキュリティ対策、パソコンの有効活用
④販売・マーケティング	販路開拓、商品開発、市場調査、販売促進、CI、広告宣伝、店舗開発、多店舗展開
⑤技術・製品開発	新製品開発・設計、技術開発・点検・保守、固有技術
⑥生産管理	生産計画、工場内工程管理、品質管理、コスト削減、ISO認証取得、小集団活動、工場立ち上げ
⑦物流管理	製・配・販の一体化、流通コストの削減、倉庫管理、コンピュータ化
⑧経理・財務管理	資金調達、資金管理、利益管理、原価管理、決算手続き、増資、監査、コンピュータ会計等
⑨人事・労務管理	定年制、賃金・退職金、就業規則、社会保険、人材開発（社員教育・能力開発）、派遣社員・パートの活用策、労働安全衛生管理、採用
⑩法務・特許	会社設立・分割・合併、企業法務全般、債権回収、特許・実用新案・商標・意匠出願、知的財産権
⑪その他	購買管理、建築、不動産管理、観光振興、農林水産業振興、医療・福祉・介護サービス、省エネルギー

新現役交流会のメリット

- 新現役交流会は、中小企業が抱える様々な課題に対して、一度に複数の支援候補者と出会え、双方の合意（対等な立場）により支援者を見つけることが可能。
- 中小企業と新現役の双方の意向に沿ってマッチングが行われるため、高いマッチング率を維持している。

図：新現役交流会参加企業の課題（令和元年度開催実績）

業種	参加企業数	マッチング企業数	マッチング率
販売・マーケティング	216	129	59.7%
経営企画・戦略立案	94	53	56.4%
人事・労務管理	57	34	59.6%
生産管理	50	32	64.0%
技術・製品開発	38	22	57.9%
経理・財務管理	21	10	47.6%
海外展開・国際化	15	10	66.7%
情報化・IT活用	12	8	66.7%
物流管理	4	4	100.0%
法務・特許	4	1	25.0%
その他	18	8	44.4%
計	529	311	58.8%



※課題が複数ある場合はメインの課題1つをカウント

図3 参加企業数（課題別）

〈出典〉関東経済産業局HP『新現役交流会の実績』（2020年9月）

北見市への提言

- 北見中小企業が直面している経営上の課題である「優秀な人材の確保」に向けて、新現役交流会の開催を提言します。
- 関心のある事業者様は、**本セミナーのアンケートのご回答をお願いします。**

